

ご修理のときは

お買い求めの販売店、またはホームセンターにお申し付けください。
なお、修理を依頼する販売店やホームセンターがお近くにない場合は、
弊社 WEB サイトから修理受付けを行っていますのでアクセスしてください。



<https://www.hikoki-powertools.jp/contact/repair/>

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

お客様相談センター

●フリーダイヤル (9:00 ~ 18:00)

0120-20-8822 ※携帯電話、IP電話からもご利用いただけます。

工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟 18 階)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99749402 312 M

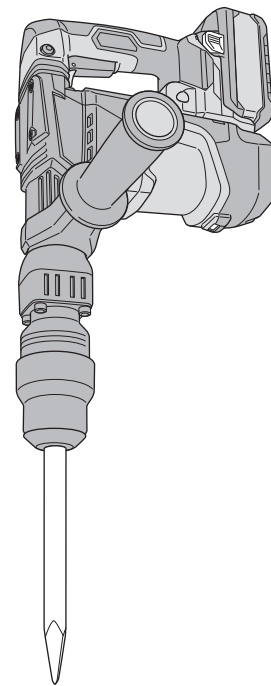
HIKOKI

取扱説明書

コードレスハンマ

36 V H 3641DA [SDS-max シャンクタイプ]

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意	7
用途	8
各部の名称	8
仕様	9
標準付属品	10
別売部品	11

使い方

スイッチの操作について	12
蓄電池の取付け・取りはずし	13
LED ライトについて	13
サイドハンドルの取付け	14
工具の取付け・取りはずし	15
先端工具の向き決め	16
打撃数の調整	16
保護機能について	17
作業上のご注意	18
破砕・ハツリする	19

その他

保守・点検	21
ご修理のときは	裏表紙

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - コードレス工具は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ③ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ④ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

⚠警告

- ⑤ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。**
 - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑥ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑦ **指定の付属品や別売部品を使用してください。**
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別売部品を使用してください。事故やけがの原因になります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる所に保管してください。
事故の原因になります。
 - コードレス工具を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所(金属の箱や夏の車内など)に保管しないでください。
劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。

⚠注意

- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
- 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
- 常に足元を安定させて、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
- 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
 - 付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ **調整キーやスパナなどは、スイッチを入れる前に取りはずしてください。**
- 調整キーやスパナなどの工具類が、取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑩ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
- コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ **十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。**
- 特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。
- ⑫ **アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用しないでください。**
- アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発生させる物質です。

⚠注意

- ⑬ **損傷した部品がないか点検してください。**
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ **コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**
- サービスマン以外の方は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
 - コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受けできません。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスハンマについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に確かめてください。
埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用中は、機体を両手でしっかりと保持してください。
- ③ 使用中は、工具類に手や顔などを近づけないでください。
- ④ 使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑤ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体や工具類などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑥ 蓄電池は確実に取付けてください。
確実にしないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。
特に高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
- ⑦ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、コンクリート粉じんや切りくず、ほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部にコンクリート粉じんや切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いたコンクリート粉じんや切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後にコンクリート粉じんや切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ⑧ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

⚠ 注意

- ① 付属品や別売部品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- ② 作業中は、耳栓、ヘルメット、安全靴などの安全保護具を着用してください。
- ③ 作業直後の工具類およびその取付部周辺は高温になっているので、触れないでください。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑤ 運転させたまま、台や床などに放置しないでください。
- ⑥ 作業の際、機体を無理に押し付けしないでください。
先端工具を傷めて作業効率が低下するだけでなく、機体の寿命低下につながります。
- ⑦ LEDライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
- ⑧ スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。

⚠ 警告マークについて



このマークのある操作・手順では、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。
蓄電池を工具本体に装着したまま準備や点検、先端工具の交換などをすると、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記①、②、③の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、蓄電池の取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を守ってください。

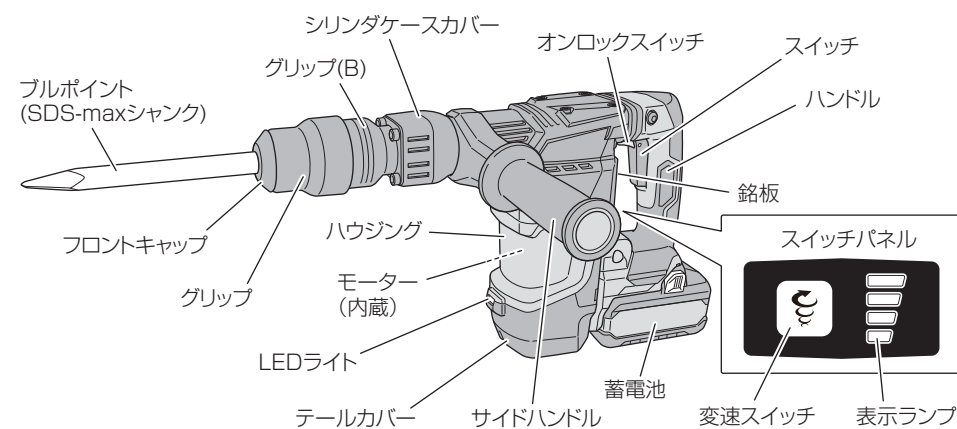
○ 蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

用途

- コンクリートの破碎、ハツリ
- 角出し、砂利道の穴掘り、突き固め、溝切り、切断、はがし、面荒らし

各部の名称



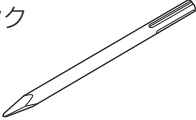
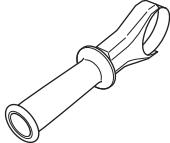
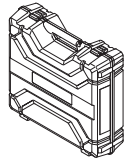
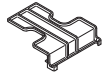
仕 様

形 名	H 3641DA
全 負 荷 打 撃 数 [気温 20℃ 満充電時]	1,500 ~ 2,880 min ⁻¹ {打撃/分}
モ ー タ ー	直流ブラシレスモーター
適 用 ビ ッ ト	SDS-max シャンクタイプ
電 池 電 圧	36 V
使 用 可 能 蓄 電 池	マルチボルトタイプ蓄電池
L E D ラ イ ト	白色
質 量 [BSL 36B18X 装着時]	6.1 kg (サイドハンドル装着時) 5.8 kg (サイドハンドルなし)
寸 法 [BSL 36B18X 装着時]	463 × 248 × 95 mm (全長 × 高さ × 全幅)
振 動 3 軸 合 成 値 ^{*1}	9.7 m/s ² ^{*2}

※1: 振動 3 軸合成値 (周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値) については、
JEMA [一般社団法人日本電機工業会]
ウェブサイト: <https://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>
を参照してください。

※2: 振動 3 軸合成値は、EN62841-2-6 規格に基づき測定しています。

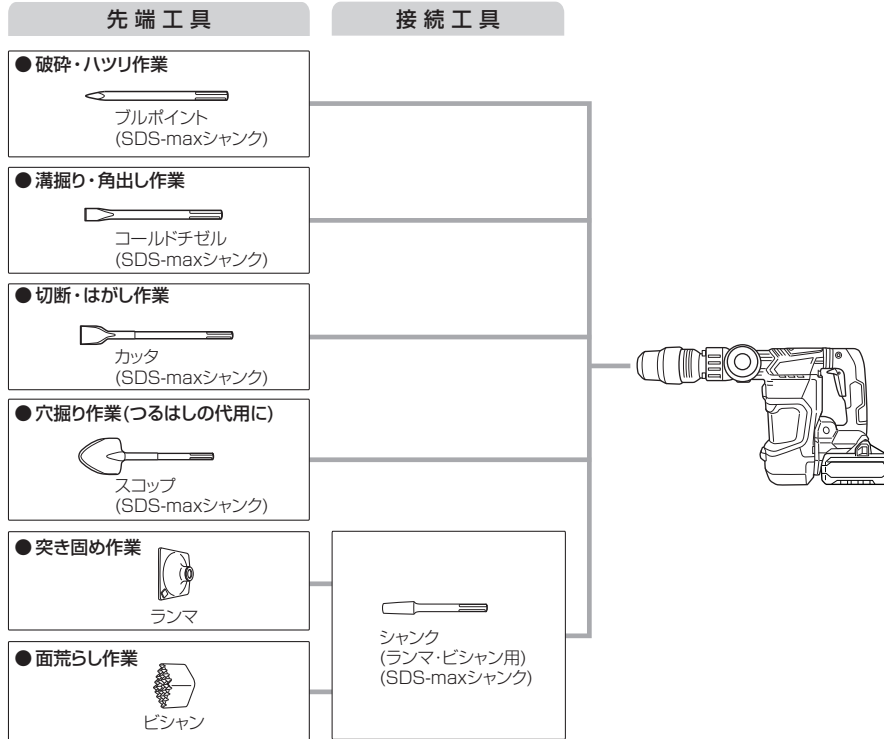
標準付属品

品 名	仕 様	2WPZ	NNK
蓄電池 ●取扱い方法は、蓄電池の取扱説明書を 確認してください。		2 個	—
充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱説明書を 確認してください。		1 台	—
ブルポイント SDS-max シャンク 全長 280 mm		1 本	1 本
サイドハンドル		1 個	1 個
収納ケース		1 個	1 個
電池カバー		2 個	—

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

用途に応じた先端工具を使用することで、いろいろな作業に利用できます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

なお、この機体の工具取付け部はSDS-maxシャンクタイプ品専用となっておりますので、SDS-max シャンクタイプの先端工具、または各種アダプタ (接続工具) を使用してください。



スイッチの操作について

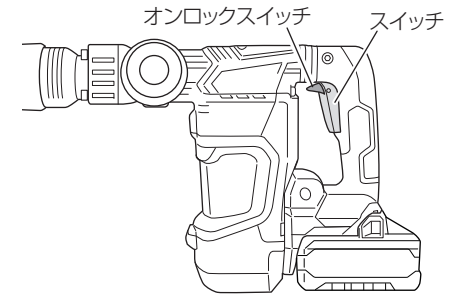
⚠ 警告

蓄電池を工具本体にさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。スイッチが入っているのを知らずに、蓄電池を工具本体にさし込むと、不意に動き思わぬけの原因になります。オンロックスイッチが入ったままになっていないか、一度スイッチを引き、はなしたときにスイッチが戻ることを確認してください。

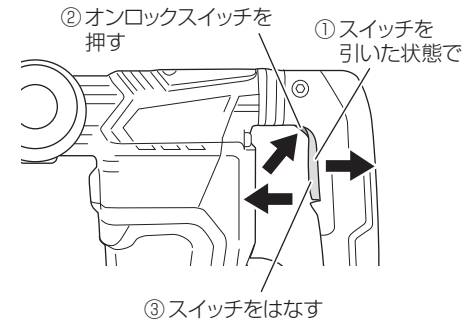
スイッチは、引くと入り、はなすと切れます。

また、スイッチを引いた状態でオンロックスイッチを押すと、指をはなしても動き続ける連続運転になります。

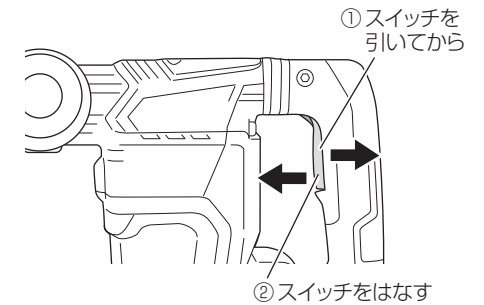
切るときは、再びスイッチを引いてからはなすと、オンロックスイッチがはずれて連続運転が解除されます。



連続運転



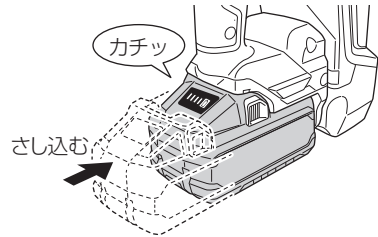
解除する



蓄電池の取付け・取りはずし

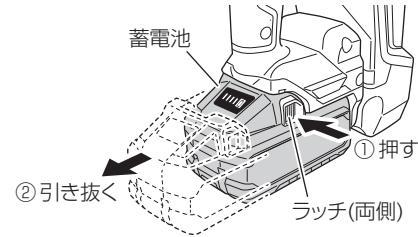
取付けるとき

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



取りはずすとき

両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。

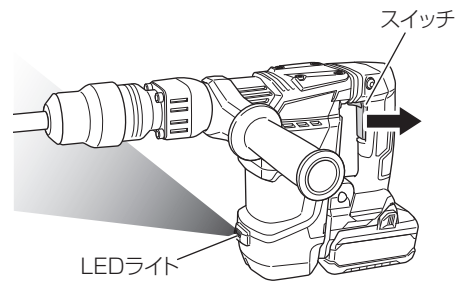


LEDライトについて

スイッチを引いている間、自動的にLEDライトが工具先端部を照らします。

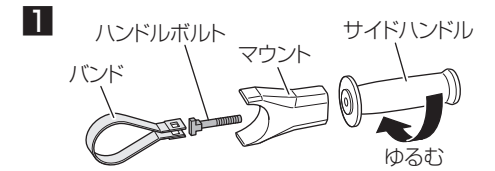
スイッチから指をはなして、約10秒後にLEDライトは自動消灯します。

注 レンズ部に付着したごみは、柔らかい布などでふき取り、傷が付かないようにしてください。

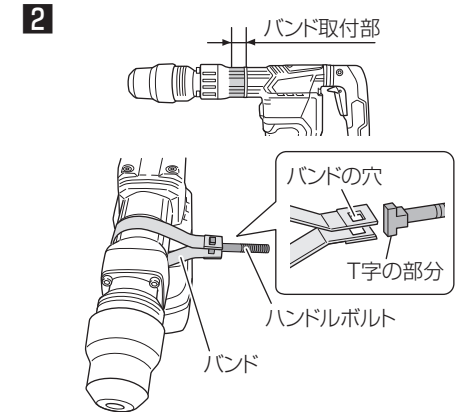


サイドハンドルの取付け

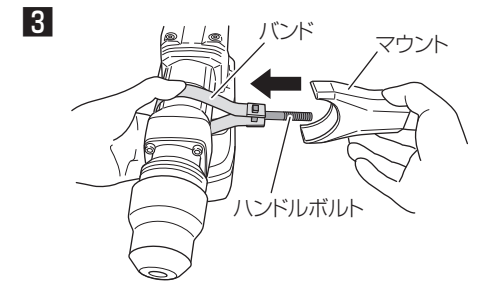
1 サイドハンドルを回して分解します。



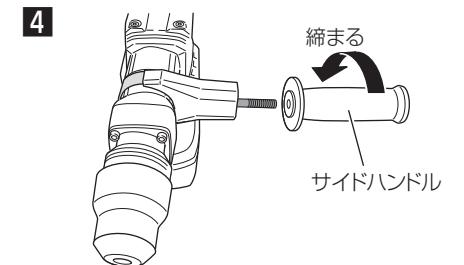
2 バンド取付部にバンドを取付け、ハンドルボルトのT字の部分をバンドの2つの穴に通します。



3 ハンドルボルトがバンドからはずれないように、バンドを手で押さえながらマウントを装着します。



4 作業に適した位置に合わせ、サイドハンドルを回して固定します。この際、しっかり固定されていることを確認してください。



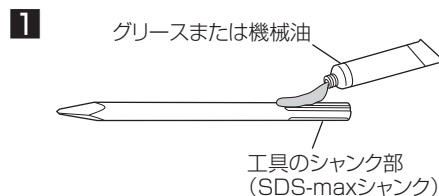
🔧 工具の取付け・取りはずし

⚠️ 警告

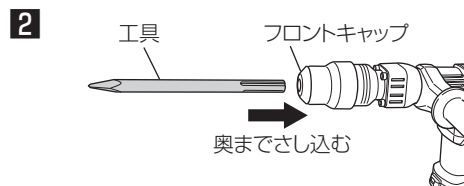
工具は弊社指定の別売部品を使用してください。(P.11「別売部品」参照)

取付け

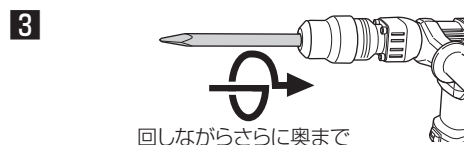
1 工具のシャンク部をきれいにふき、グリースまたは機械油を塗布します。
摺動が円滑になり、工具を押し込みやすくなります。また、工具のシャンク部や取付け部の摩擦が軽減されます。



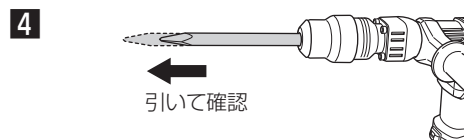
2 工具をフロントキャップの穴にさし込み、奥まで突き当てます。



3 工具を軽く押しながら回していくと、工具の溝がかみ合っただけで奥まで入って突き当たります。

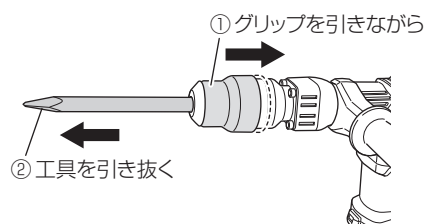


4 確実に工具が固定されたか、工具を引いて確認します。



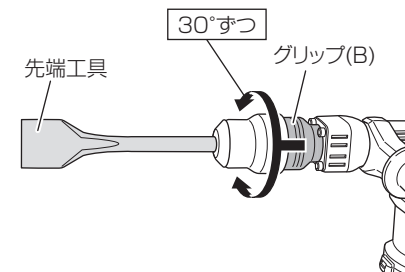
取りはずし

工具を取りはずすときは、グリップを矢印方向に引きながら、工具を引き抜きます。



🔧 先端工具の向き決め

グリップ(B)を回転させることにより、30°ずつ12段階の位置に刃先角度を変えることができます。
右図のようにグリップ(B)をスライドさせながら回すと、お好きな位置に刃先角度が変えられます。



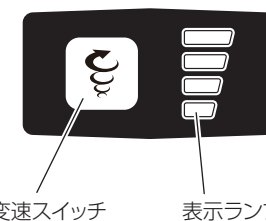
注 グリップ(B)をスライドさせずに回して、先端工具の向きがロックされていることを確認してください。

🔧 打撃数の調整

打撃数を調整する電子制御回路を内蔵しています。

作業内容により、変速スイッチで打撃数を切り替えてください。

変速スイッチを押すと、表示ランプとともに打撃数が切り替わります。



注

- 打撃数の調整は蓄電池を本体に取付け、一度スイッチを引いた後でないと切り替えできません。
- モーターの回転中に変速スイッチを押しても切り替えはできません。スイッチを切り、モーターの回転が停止してから、操作してください。

表示ランプ点灯状態				
打撃数 min^{-1} { 打撃 / 分 }	1,500	2,000	2,400	2,880

保護機能について

本機には機体に異常が発生した場合に、機体の損傷を防ぐ保護回路が内蔵されています。

次のような場合には、表示ランプが点滅して運転を停止します。表示ランプの点滅状況を確認して対処してください。

なお、変速スイッチは、スイッチを引いていない状態で押してください。



変速スイッチ

表示ランプ

注 対処方法を行っても表示ランプが点滅し続ける場合は、機体の故障が考えられます。お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

表示ランプ 点滅状態	原因	対処方法
	内部温度が高温になり、規定値を超えたため、運転を停止した。 〔温度上昇保護機能〕	15～30分ほど機体を休めてください。 温度が下がると、変速スイッチを押した際に復帰します。
	機体に無理な力が加わり、過負荷状態になったため、運転を停止した。 〔過負荷保護機能〕	変速スイッチを押すと復帰します。 過負荷にならないよう作業してください。
	センサー信号の読み取りエラーのため、起動しない。 もしくは運転を停止した。 〔制御監視機能〕	変速スイッチを押すと復帰します。 連続して発生するときは、故障の可能性があります。

作業上のご注意

●連続作業について

本機はモーターおよびモーターの駆動制御を行っている電子部品を保護するため、温度保護回路が搭載されています。

連続作業を行うと、機体の温度が上昇するため温度保護回路が作動し、自動停止する場合があります。

その際は本機を十分に冷ましてください。温度が下がれば再び使用することができます。

連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に工具本体を15分程度休ませてから使用してください。蓄電池の交換後すぐに作業を続けるとモーター、スイッチなどの温度が高くなり、故障の原因になります。

●機体の保持と押し付け力について

機体を両手でしっかりと保持してください。また、先端工具を必要以上に押し付ける必要はありません。先端工具にこじる力や押し付ける力が過度にかかるると、機体が故障する原因になりますのでご注意ください。

破碎・ハツリする

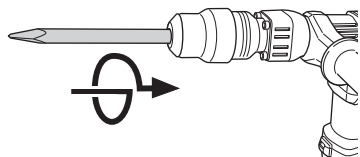
- コンクリートの破碎、ハツリ
- 角出し、砂利道の穴掘り、突き固め、溝切り、切断、はがし、面荒らし

警告

- 作業中は、ハンドルとサイドハンドル、またはシリンダケースカバーを両手でしっかりと保持してください。
- グリップを握って、作業をしないでください。誤って引いてしまい、先端工具がはずれるなど、けがの原因になります。

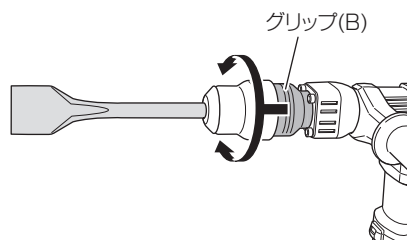
1 工具を取付ける

P.15「工具の取付け・取りはずし」の手順に従い工具を取付けます。



2 工具の向きを決める

コールドチゼルやカッタ、スコップを使用するときは、P.16「先端工具の向き決め」の手順に従い、先端工具の向きを決めます。

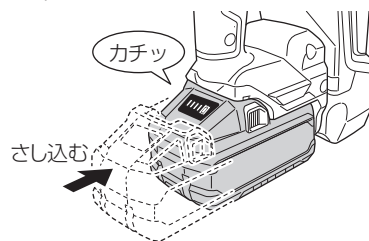


3 スイッチが切れていることを確かめる

- スイッチが入っているの知らずに、蓄電池を工具本体にさし込むと、不意に動き思わぬけがの原因になります。
- オンロックスイッチが入ったままになっていないか、一度スイッチを引き、はなしたときにスイッチが戻ることを確認してください。(P.12「スイッチの操作について」参照)

4 蓄電池を取付ける

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。(P.13「蓄電池の取付け・取りはずし」参照)



5 変速スイッチを設定する

一度スイッチを軽く引いた後、変速スイッチを押して、作業に応じた打撃数を設定します。(P.16「打撃数の調整」参照)

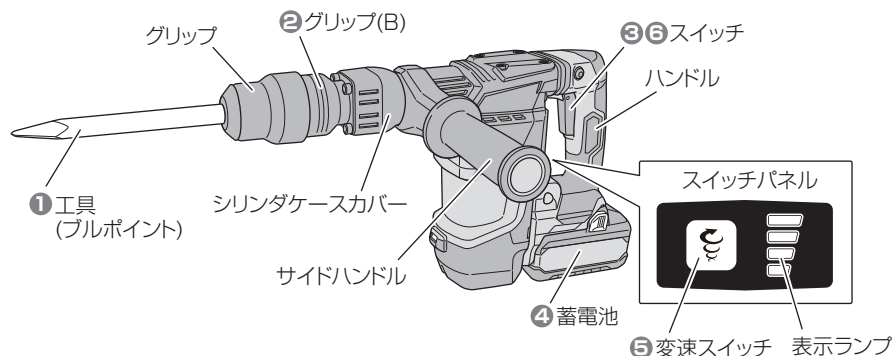
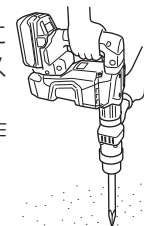
注意

作業の際、機体を無理に押し付けしないでください。反動を押さえる程度に押し付けて作業してください。無理に突きさしたり、押さえ付けても作業の効率は上がりません。床面の破碎・ハツリの際には、機体の自重を利用し、反動を押さえる程度に押し付けて作業してください。

注 気温の低いとき、あるいは長期間使用しなかったときなどは、5分間位空運転し、機体が暖まってから使用してください。グリースが固くなっていて、モーターが作動しても打撃しない場合があります。

6 スイッチを入れる

破碎・ハツリする位置に工具先端を当ててからスイッチを入れます。(P.12「スイッチの操作について」参照)



保守・点検

⚠ 警告

エアガンなどを用いて掃除する際には、保護メガネと防じんマスクを使用してください。

排出されたコンクリート粉じんを吸い込んだり、目に入る可能性があります。

● グリースの交換

この機体はグリース密封構造となっており、ほこりの侵入を防ぎ、長期間無給油で使用できます。

しかし、機体を長持ちさせるために6か月ごとにグリースの交換をしてください。

注 機体へ使用しているグリースは特殊グリースです。他のグリースを使用した場合、性能を損なう恐れがありますので、グリースの交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

● 先端工具の点検

摩耗した先端工具を使用するとモーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますので早めに研磨するか新品と交換してください。

● 機体の点検

各部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。

ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。

異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。

ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

● 端子部の点検

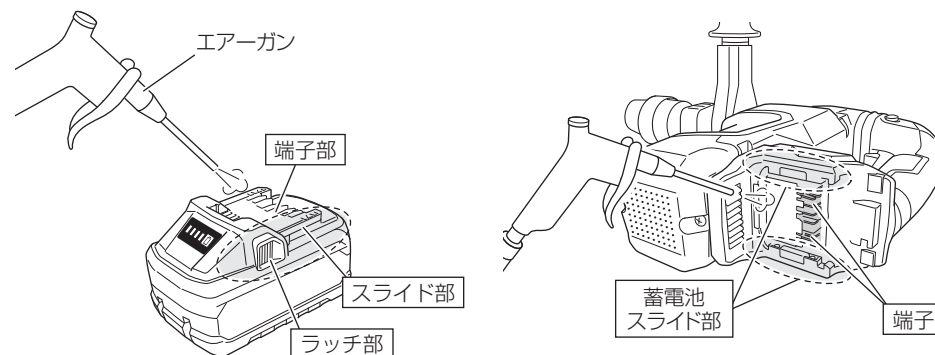
工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

● 蓄電池取付部・蓄電池の掃除について

コンクリートの破砕・ハツリ後、下図各部にコンクリート粉じんが付着した際は、乾いた布やエアガンなどで付着したコンクリート粉じんを掃除してから、使用してください。

注 掃除後、工具本体と蓄電池がスムーズに脱着することを確認してください。

● コンクリート粉じんが付着したまま使用すると、使用中に蓄電池が落下するなど、事故の原因になります。また、蓄電池と端子の接触不良や故障の原因になります。



● モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）（P.8「各部の名称」参照）に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させてください。機体内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

● 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
- 温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所